

3. 活動内容

進め！ 川っ子探検隊

～地域を愛し、地域の環境を守り、地域を誇りに思う子の育成～

(1) はじめに

校区を流れている朝倉川は、河原に降りて川の中に入る場所が多いため、子どもたちにとって、川で遊ぶ楽しさを味わうことのできる親しみのある川である。本校では、これまでも、この恵まれた環境を生かして、朝倉川でさまざまな体験活動を実践してきた。子どもたちは、活動を進める中で川の中の生き物の様子や水の汚れなどから、川を取り巻く環境に目を向けるようになってきている。そこで、地域を愛し、地域の環境を守っていけるよう、川だけでなくその周辺の環境や防災にまで深く関わっていけるような子どもたちの姿を期待して、ESDを推進していきたい。

(2) ねらい

本校では、以下の3つの活動で次のような目標を掲げている。

- ① 川に親しむ活動（1・2年生）
 - ・実際に朝倉川に入り、一人一人の子どもが自分らしい着眼で川を見つめ、自分なりの課題を見いだす。
- ② 川を調べる活動（3・4年生）
 - ・自分の課題に向けて、問題を解決したり、確かな考えを作り上げたりする。また、新たな事実に出会うことで、朝倉川の見方を広げていく。
- ③ 川を守る活動（5・6年生）
 - ・情報を収集したり、朝倉川の活動で得た事実をつないだりして、自分なりの考えを構築する。

(3) 実践

① 各学年の具体的な活動

生き物探し … 1・2年生 季節と水温の関係調査 … 3年生
 水質調査 … 4年生 川の美化運動 … 4年生
 川の流れの速さ調査 … 4・5年生
 治水事業調査 … 5年生 地域防災 … 6年生

② 活動を進めるためのESDカレンダー（4年生の例）

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会	水はどこから						牛川の歴史					
理科	春の生き物観察		夏の生き物の観察			秋の生き物観察			冬の生き物観察			
総合	水質検査		自然調べ		環境保護活動		グループ別調査・発表					
行事	川辺の生物スケッチ											

③ 各学年の活動の様子

- ・1・2年生の生活科の学習では、生き物探しや校区探検で朝倉川の水辺の生き物や植物の観察を通して、水辺ならではの自然環境に親しみながら学習を進めた。捕まえた魚やエビを教室で飼うことで飼育の難しさ感じたり、生き物への愛着をもたせることができた。



生き物探し



カワニナを見つけたよ



朝倉川の親水公園

- ・ 3・4年生の総合的な学習では、子どもたちが川探検で興味をもったテーマ「生き物調べ」「植物調べ」「川の流れや深さ調べ」「ごみ調べ」について探求した。また、理科や社会科の水の学習と関連させながら、CODを用いた水質検査などを実施した。そのほかにも朝倉川の汚れ具合を調べ、朝倉川の水をきれいに保つには、どうしたらよいかを話し合う場を設け、子どもたちに自然が大切であることを気づかせ、日常生活の中で自然環境を守っていこうという思いを育てた。



朝倉川探検の様子



オイカワを捕まえたよ



川に落ちていたごみ

- ・ 5・6年生では、朝倉川の治水事業調査から地域防災へと、それぞれが課題をもち調べを進めた。校区の自治会長さんへのインタビュー内容から出てきた「校区に住む一人暮らしのお年寄りをどう守るか」という課題についても、調べ学習から得た知識をもとに、解決に向け話し合いを進めてきた。現実的には、すぐに解決できるような簡単な問題ではないが、子どもたちが身につけた知識や考えを総動員して、何とかしようと意欲的に取り組んだ。



自治会長さんのインタビュー映像



授業風景



プレゼンテーション

(4) おわりに

現在の朝倉川は護岸工事が進み、両岸がコンクリートで覆われているが、ひとたび大雨が降ると、今でも水害を起こす可能性を秘めている。一方、川には親水公園が設置され、岸には草が生い茂るなど、本来の自然に近い川の姿を見ることが出来る。このような多様な側面をもつ朝倉川に出会うことで、子どもたちは、川のメカニズムや川の水や周囲の汚れ、水害とそこに住む人々との関係など、子どもならではの着眼で見つめ直すことができた。そして、さまざまな体験活動が自分たちの暮らしと朝倉川の関係を見つめ、自然との関わり方のあり方にまで考えるきっかけとなった。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）